

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った画像データをまとめ、詳しく調べることによって行います。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている画像データを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

膵頭十二指腸切除術における上腸間膜静脈、上腸間膜動脈周囲の血管解剖の画像的検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 高田 泰次（肝胆膵・乳腺外科 教授）

【研究の目的】

過去に受診された肝臓、胆道、膵臓領域疾患患者に施行された画像データを収集・解析し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は胆道、膵臓領域疾患における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2016年1月1日から2018年12月31日までに愛媛大学医学部附属病院肝胆膵移植外科を受診された方のうち肝臓、胆道、膵臓領域疾患と診断された患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、既往歴、画像検査データ、治療状況 等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。

また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部肝胆膵乳腺外科 本庄 真彦

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 高田 泰次

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327